



特殊応用針

SAN® 12

2本針飾り縫いの完璧なステッチ

GROZ-BECKERT®

Groz-Beckert KG

Parkweg 2, 72458 Albstadt, Germany

Phone +49 7431 10-0, Fax +49 7431 10-2777

contact-sewing@groz-beckert.com

www.groz-beckert.com

2本針本縫いの飾り縫いにおいて発生する問題

2本針ミシンで2本の平行したステッチを形成する時、ステッチの見た目が揃っていないことが理想的です。しかし実際には、左右の針の糸方向とループ捕捉の方向の違いにより、

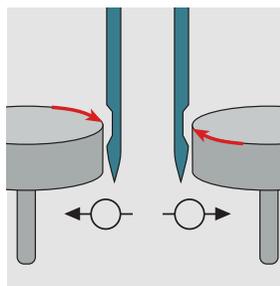
左右のステッチの見た目には違いが現れることがあります。これは斜めステッチ (LR ポイント) と直線ステッチ (S ポイント) 両方において起こりうる問題です。

解決策

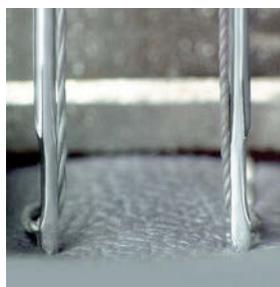
SAN® 12 LR と SAN® 12 S 針の、綿密な位置合わせを行った平取りシャンクにより、2本針ステッチの見た目の改善を実現しました。



ループ捕捉



撻りの移動



SAN® 12 LR:

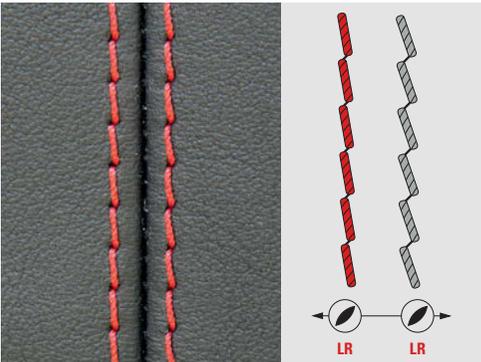
- 均一で調和のとれた斜め方向のステッチを実現します。
- 右側の針のみに使用します。



SAN® 12 S:

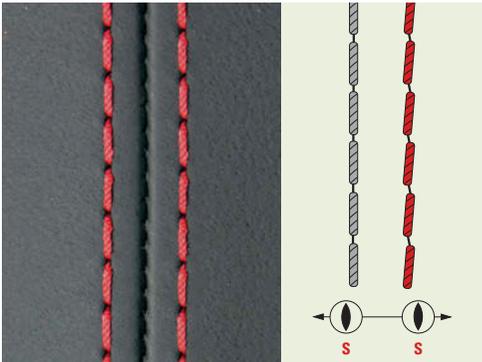
- 均一で調和のとれた直線方向のステッチを実現します。
- 左右両側の針に使用します。

標準針を使用したステッチ形成



標準 LR ポイント

LRポイントを使用した際、右側のステッチに比べて左側のステッチ傾斜が浅く見える。



標準 S ポイント

Sポイントを使用した際、左側のステッチが右側のステッチに比べてより真っ直ぐに見える。

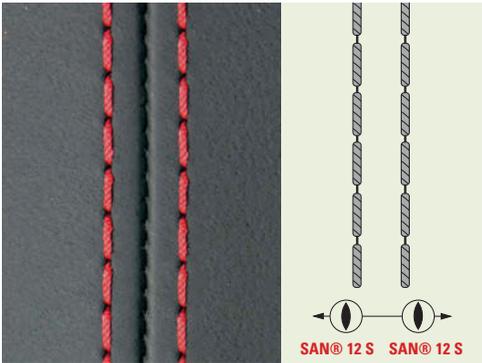


SAN® 12 針を使用したステッチ形成



SAN® 12 LR ポイント

SAN® 12 LRを右側のステッチに使用した際の均一で調和のとれたステッチ形成。



SAN® 12 S ポイント

SAN® 12 Sを両側に使用した際の均一で調和のとれたステッチ形成。



Groz-BeckertのSAN® 12 針による美しい飾り縫い